

# 陸上運動部便り

2011年9月号

## 一橋戦

### 目次

1 一橋戦	1
1.1 監督の言葉	1
1.2 主将の言葉	1
1.3 女子主将の言葉	1
1.4 試合経過	2
1.5 試合結果	8
2 2011年度部内5傑	10
3 自己記録更新者一覧 2011.7.25~9.3	12
4 主務より	12
4.1 応援OB・OG紹介	12
4.2 行事予定	12
4.3 連絡先(慶弔等)	12

## 1 一橋戦

### 1.1 監督の言葉

監督 藤田靖浩

今年度の一橋戦は、男子はトラック種目に故障者が多く、厳しい戦いとなりましたが、七大戦とは逆にフィールド陣の頑張りで無事に勝利。女子も短距離、中距離、フィールドと満遍なく活躍し、優勝することができました。

個々の記録を見ますと、円盤投で佐々木が再び43mを超えたほか、3年片山も34m以上を投げ、関東インカレ参加標準記録を突破。また走高跳では、1年工藤が1m90の自己タイ記録をマーク。1m95は惜しくも失敗に終わりましたが、高さは十分にでており、今シーズン中の記録更新が期待されます。

続く対校戦は、9月25日に千葉県印西市千葉ニュータウンにて関東大学女子駅伝が、10月1日に駒場グラウンドで京大戦が実施されます。引き続きご指導、応援宜しくお願い致します。

### 1.2 主将の言葉

主将 春日慶輝

台風が接近していたため開催自体が危ぶまれていたものの、当日は幸いにも競技に支障がない程度の天候であり、接戦ながら勝つことができました。勝ちしたものの、課題が残る内容でした。短距離についてはベストメンバーで臨むものの、怪我や不調などでベストパフォーマンスとは言えない状態、長距離も合宿の疲労が抜け切れていないために、本来の実力では負けない相手に勝つことが出来ないなど、現状では京大戦に勝てる力はありません。しかしながら、投擲陣は人数が少ないながらも好調であり、3年片山が円盤が34m64、砲丸が10m27とともに自己ベスト、3年佐々木が円盤で自己ベストに迫る43m08など、京大戦での活躍が大いに期待できます。京大とは七大戦ではトラック優勝を分け合ったものの、フィールドでの差をつけられてしまったため厳しい戦いが予想されますが、一橋戦の失敗を活かし、万全の準備をして勝利のご報告が出来ますよう部員一同がんばります。これからも変わらぬご指導ご声援のほどよろしくお願い致します。

### 1.3 女子主将の言葉

女子主将 鈴木恵美里

秋シーズン最初の対校戦である三大戦は、女子チーム一同、夏期の練習成果を確認し、絶対に優勝するという目標を持って臨みました。最初の種目の100mで、これまで怪我に苦しんできた鈴木理香(3年)が優勝し、最後の4×100mRの勝利まで、良い流れを作り出すことがき、「チームで戦う」ということを体現できた大変気持ちの良い試合でした。今回の結果を自信にして、京大戦に向けてまた調子を上げて、精一杯戦いたいと思います。

今後も変わらぬご指導、ご声援を、よろしくお願い致します。

## 1.4 試合経過

### トラック

#### 10:30 男子 100m 決勝

2レーンに山下(3年)、4レーンに真木(3年)、6レーンに八子(2年)の出場。出場者6人の中で持ちタイムがトップの一橋大櫻井選手、2番手の真木が中心の争いと予想される。七大戦の200mを制し今期勢いに乗る真木はエース春日不在の中で優勝が、山下、八子は東大短距離陣の層の厚さを見せつける走りが期待される。

スタートの号砲が鳴ると、真木は隣のレーン櫻井選手と並ぶまずまずのスタート。その後60m付近まで接戦のトップ争いを演じる。真木は得意の後半力強く抜け出し櫻井選手を0"04差で振り切り、11"24の1位でゴール。八子、山下はそれぞれ先頭の2人にやや遅れるも無難なスタート。しかしその後中間走で伸びずほぼ同時にフィニッシュ。記録は八子が11"57の4位、山下が11"61の5位であった。この時の風は+1.3mであった。

風は追い風であったが台風の影響で風が舞い、時折強風の吹く難しいコンディションだったため、タイムは今ひとつだったものの、真木は七大戦に続ききっちり優勝し、勝負強さが身についてきたと言える。八子、山下に至っては順位、タイムともに満足できるものではなかったが、京大戦、そして来年以降の対校戦での活躍が期待される。

#### 10:55 女子 100m 決勝

3レーンに鈴木理(3年)、6レーンに久保木(3年)の出場。出場者は4名と少ないレースであったが、夏合宿でいい練習が積んでいた2人だけに良いレースが期待される。

号砲とともにスタートすると、鈴木は上体がやや起きてしまい上手く加速することができず、若干出遅れてしまう。しかし体が硬くなることはなく、そのまま中間疾走へと移行すると力強い走りで前を行く選手を捉え、先頭へ。そのままトップをキープし13"67の1位でフィニッシュ。鈴木とは対照に久保木はまずまずのスタートを見せ、

30mまでトップ争いを演じる。しかし中盤以降伸びず、そのまま13"95の3位でフィニッシュとなった。

いままでは怪我で苦しんでいた2人であったが、夏以降良い練習が積めて、しっかりと対校戦を戦えたことは良い経験となったであろう。これからも女子短距離陣を引っ張るとともに対校戦での活躍が期待される。

#### 11:10 男子 1500m 決勝

東(4年)、宮野(4年)、吉岡(2年)の出場。一橋と合わせて6人の出場で一発決勝。台風の影響で風が強く、さらに湿度は90%を超えるというバッドコンディションでのスタート。幸い気温は高くなかった。

スタート後飛び出したのは宮野。敵は800系の選手ばかりなのでスローペースに持ち込むまいと先頭で引っ張る。吉岡がそれに続く。東は最後尾につけるといふ、持ちタイムがトップにしては比較的消極的な入りとなった。200m通過あたりで東が一人かわして5番目に。そのままの順位で一周目を通過。宮野が62"、吉岡は63"、東は64"。600mあたりで東を先頭とした後方集団が前方集団から少し離れる。800m通過あたりで風雨が急に強まり、それに影響を受けた吉岡が先頭集団から離れ始める。この風雨の影響で集団がバラバラになり始める。依然として宮野は先頭。それにぴったりと一橋の齊藤がつく。優勝争いはこの2人で行われそうである。900mあたりで吉岡のスピードが急に遅くなり、他の選手にかわされ、最後尾に。1000mを通過した頃に東がペースをあげ、一人かわして4番目に。1200m通過時点で宮野は1番目、東は4番目、吉岡は最後尾。ラスト200mあたりで東がラストスパートし、前との差が縮まってゆく中、先頭では一橋の齊藤がこれまでためていた力を持ってラストスパート。宮野をかわし先頭へ。ゴール直前で東は宮野をかわし、4'09"64の2位でゴール。続く宮野は4'09"87の3位、吉岡は4'30"57の6位となった。

今回は台風というバッドコンディションのなか、皆健闘した戦いをした。中盤の最も苦しいときに雨風にやられたのは運が悪

かったが、そこでペースを崩されないような体力、レース展開を心がけると、より高レベルなレースに対応できるであろう。次の京大戦に期待である。

#### 11:30 女子 1500m 決勝

浜松(3年) 杉本(2年) の出場。両者とも現在関東女子駅伝に向けた長距離寄りの練習に取り組んでおり、このレースにいかに関わらせられたかが順位の鍵となる。直前に通り雨があったがその雨も上がり、気温もさほど高くない中でのレース開始となった。

スタートすると浜松が積極的に前に出て先頭となり、後続を突き離す。杉本は少し出遅れ一橋の選手に続いて3番目につける。浜松は1周目が74"であったのに対し2周目のラップが10秒ほど落ちており、長距離練習に慣れてしまったせいか以前のようにスピードを維持することが出来なかったようである。しかしフォームは崩れることなく最後まで独走した。杉本は1周のラップが80秒台を刻む安定した走りを見せた。しかし元々長距離寄りの選手であり、通常よりもスピードが求められるレースに対応しきれない印象を受けた。前の選手を懸命に追うも向かい風などに阻まれて差を縮めることが出来ず、スタート時の順位のままゴールした。結果は、浜松が5'03"31の1位、杉本が5'23"84の3位であった。

女子駅伝に向けた練習の中での中距離種目ということや、夏休み中の合宿などの疲労などによって双方にとってもあまり快走とは言い難いレースになったのではないだろうか。今後同じような条件下で、いかに目の対校種目に臨んでいくかという課題が見えたレースだった。

#### 11:50 男子 110mH 決勝

2レーンに上松(3年)、4レーンに杉森(2年)、6レーンに川原(2年) の出場。大量得点を狙える種目であり、3人の活躍に期待がかかる。レース時天候は曇り、やや強い向かい風が吹いていた。

ピストルのトラブルにより一度仕切り直して再スタート。上松がスタートから飛び出し、順調にリードを広げる。そのままトップを譲ることなく15"97の1位でゴール。

川原はスタートでやや出遅れるが、中盤から2位争いを展開。終盤に抜け出し、16"21の2位でゴール。杉森はまずまずのスタートを切り、2位争いをややリードして展開する。しかし終盤疲れたか、8台目以降スピードが落ち、結局16"57の4着でフィニッシュ。このとき風は+1.7mであった。

追い風1.7mとは言え、実際はレース中の風の強さも向きも安定せず、必ずしも記録を出しやすいコンディションではなかった。そのため記録としては3選手とも満足な結果とはいかなかったであろうが、この種目でしっかり得点を獲得したことで、総合優勝に近づいた。3選手ともこのレースを通じて更なる課題が見つかったであろう。京大戦、さらに来シーズンに向けて頑張ってもらいたい。

#### 12:10 男子 400m 決勝

東大は1レーン・3レーン・5レーンにそれぞれ真木(3年)、小松(4年)、大澤(3年) の出場。三者とも十分に点を稼ぐだけの実力を持っているが、真木と大澤は故障による影響が、小松は院試のため十分な練習を積めなかった影響が心配される。一方、当日は台風の接近により強風が続くうえ、雨が激しく降ったかと思うと、その数分後には晴れて暑い日差しが照りつけるといった、選手にとって調整が非常に難しいコンディションとなり、実力を発揮するのは至難の業だといえるだろう。

号砲と共にレースが始まった。真木・大澤はいい位置でうまく加速に乗る。しかし小松は、やはり院試のための練習不足が響いたのか、スタートから出遅れうまく加速することができない。真木・大澤はバックストレートでスピードを落とすことなく、300m付近までいいペースで走り、優勝候補筆頭の櫻井選手(一橋)とトップを争う。しかしホームストレートに入ったところでハムストリングスに違和感を感じ大澤が失速、そのまま止まってしまうDNFとなった。真木はホームストレートでもスピードを落とすことなく、50"35の2位でフィニッシュ。小松は最後まで自分の走りをする事ができず、55"45の5位でフィニッシュという



でフィニッシュ。続いて山田も15'51"59の3位、岩川は後半苦しい走りとなり16'37"49の5位でフィニッシュした。

夏合宿の疲れが抜け切っていないこともあって各選手思うような走りができなかったが、これから調子を上げて京大戦さらには箱根駅伝予選会では最高の走りをしてもらえるだろう。大久保・岩川はこの悔しい経験を糧にこれから対校選手としての成長を期待したい。

#### 15:20 女子4×100mR 決勝

4レーンに武田(2年)-久保木(3年)-鈴木彩夏(2年)-鈴木理香(3年)の走順で出場。3走の鈴木彩夏は400m、4走の鈴木理香は100mでそれぞれ優勝と勢いになっており、この種目でも優勝を狙いたいところである。またひと月前の七大戦と同じメンバー、走順ではあるが、バトンパスをアンダーからオーバーへと変更しており、これが結果にどう影響を与えるかも楽しみである。

今シーズン不動の1走、武田はスタートから力強い走りで2走久保木にスムーズなバトンパス。バトンを受けた久保木はリードを守り、バトンは3走へ。3走の鈴木彩夏はやや差を広げ、4走にバトンをつなごうとするも、遠くなってしまい届かない。4走鈴木理香が減速し、なんとかバトンはつながったものの、ここでロスが生じてしまった。幸い、ここまでの3人が2位の津田塾大との差をかなり広げていたため順位に変動はなく、4走鈴木も持ち前の走力をいかし、やや詰まった差を再び広げて53"59の1位でゴール。

優勝という結果はすばらしいが、それだけに最後のバトンミスは非常に残念である。来月には京大戦が控えているが、京大は手強い相手であるため、小さなミスが致命傷となりかねない。さらなる走力の向上と安定したバトンパスを目指して欲しい。

#### 15:30 男子4×400mR 決勝

4レーンに上松(3年)、山田(1年)、松原(2年)、脳島(4年)の走順で出場。負傷者が多く、一橋大に勝つのは厳しいかと思われたマイルであるが、この勝敗でトラック優勝が決まることになり、負けるわけ

はいかなくなる。そんな中、山田(1年)がオープン400mで51"54の好記録を出したため勝利への期待が増す。

号砲とともに1走上松がスタート。400mは専門ではない上に、110mHでの疲れがあった。しかしなんとか一橋大にくらいついてわずかに遅れをとった形の2着でバトンパス。2走山田と一緒に走る一橋大の相手は山田の高校時代の先輩。簡単には負けたくないとの思いもあってコーナーを過ぎたあたりで追いつく。しかしやはり100m、400mでの疲れもあって後半に追い抜かれてしまう。そのまま2着でバトンパス。3走松原は少し差がついてしまった一橋大の選手にできるだけ近づこうと努力するも、やはり相手は速く、差を広げられてしまう。バトンパスのところでは大きな差がついてしまい、もう勝てないかと思われる。4走脳島がどこまで詰め寄れるかであったが、相手の4走は400mで優勝した櫻井(一橋大)。脳島の努力虚しく、結局追いつくことはできなかった。結果3'28"94の2位でゴールした。

負傷者が多く、残念な結果となってしまい、トラック優勝も逃してしましたが、1年にマイルで使える人材が出てきたことは喜ばしい限りである。個人の走力アップはもちろんのことだが、これからも負傷者が続出しても対校戦に勝てるような層の厚さが求められていくだろう。

## フィールド

#### 10:30 男子円盤投 決勝

佐々木(3年)、片山(3年)、三本(1年)の出場。台風が接近していたため天気は大荒れになることが予想されたが、雨は降らなかった。風は終始強く吹き付けていたが、円盤投には有利な風向きとなっていた。今大会ではフィールド競技での大量得点で、東大が勝つための要となっており、特に円盤投はとりこぼせない種目であった。佐々木と片山は実力を見せつけ1、2位を獲り、8月中に地元で特訓してきたという三本も4位を獲って得点を稼ぎたいところだ。

三本は最初の種目ということもあってか、1、2投目をファウルとしてしまう。3投目

はとりあえず記録を残して13m07を投げ、6位で折り返す。4投目は力強く振り切り、自己記録となる22m54を投げた。その後はターンに挑戦し更なる躍進を狙ったが、惜しくもファウルとなってしまった。結果は22m54で6位。片山は練習投擲から調子の良さを見せ、2投目に34m01を投げ2位。5投目に34m64を投げ自己ベストを更新した。結果は34m64で2位。佐々木は40mラインを大きく超える投擲を見せ、他を圧倒した。2投目に43m08を投げ、七大戦で見せた大投擲をたやすく再現してみせた。8月の間に地元で合同練習に参加して、更なる成長を遂げたようだ。後半はこれを超える投擲はなかったものの、安定して42m台を投げた。結果は43m08で1位。

投擲最初の種目としては順調な滑り出しであった。佐々木、片山はいっそう精進してよりよい記録を狙ってほしい。三本はまずターンを習得して、京大戦でのさらなる活躍を期待したい。

#### 11:50 男子砲丸投 決勝

佐々木(3年)、片山(3年)、三本(1年)の出場。この日は台風の影響で風が非常に強く、曇りの中で時折やや激しい雨が降るといふ不安定な天気の中での試合となった。雨の中での試合ということで、スリップなどのミスに注意しつつ安定した記録を残す事が求められた。

予選3投では3年佐々木は1投目に立ち投げで10m26の記録を残し、3年片山は3投目に10m25を記録、同日行われた円盤投げに引き続き、自己ベストを更新した。決勝3投では1年三本が5投目で7m63を記録し、片山が同じく5投目に記録を更に伸ばして10m27という成績を残した。順位は片山が優勝、佐々木が2位、三本が6位であった。

円盤投げと同様に佐々木、片山の両名が1、2位の成績を取ることで高得点を得た事はこの試合の勝利に大きく貢献したが、中でも特筆すべきはやはりこの日2種目で自己ベストを更新した3年片山の活躍であろう。今後は他の部員にも片山に続く素晴らしい活躍を期待したい。

#### 11:50 女子砲丸投 決勝

武田(2年)、今須(1年)の出場。持ち記録で他選手を大きくリードしている武田にとっては、優勝はもちろん10mを超える記録が目標となる。今回初めて砲丸投に出場する今須も、その未知数の実力に期待がかかる。

武田は1投目で9m37をマークしトップに立ったが、スムーズなグライドを意識するあまり身体が早く開いてしまう状態に陥りその後の数本は9m50前後にとどまった。それでもスタンドからの応援に後押しされ、最終的に9m67まで記録を伸ばし優勝した。今須は1投目から着実に記録を伸ばし、5投目には6mに迫る投擲。ファールに悩まされたもののバネを生かした好投を見せ、5m92の3位で試技を終えた。

今回はきっちり1位を守った武田はもちろんだが、何よりルーキー今須の予想以上の健闘が大きな収穫であった。本業は800mであるが、こちらでもさらなる技術を身につけひと月後の京大戦で活躍してほしい。

#### 13:00 男子走幅跳 決勝

廣瀬(6年)、沢登(2年)、栗田(1年)の出場。台風の影響が懸念されたが、幸運にも雨がほとんど降らない中、競技が行われた。一番記録を持っている飯島(2年)が怪我のため欠場し、厳しい戦いが予想される。

廣瀬は三段跳にも出場し疲れが残っていたのか、助走の際うまく体が乗ってこない。一本目の跳躍はファールし、二本目で6m00を記録。3本目は歩幅が合わずに記録が伸ばせなかったが、ベスト8には残る。その後四本目、六本目で順調に記録を伸ばし、6m15で2位。

沢登は一本目の跳躍で自己ベストとなる6m07をマーク。その後もコンスタントにベスト記録に近い跳躍を見せるが、一本目を超えられず、記録6m07で4位。栗田は高校の自己ベストが6m60台と高記録であるが、まだその感覚を取り戻せない。一本目の跳躍で6m07、二本目で6m04と6mを超える跳躍を続けるものの、その後目立った跳躍を出せず、記録6m07の3位で競技終了。第二記録の差で沢登が4位、栗田が3

位となった。

以上により東大の点数は6点と、良い結果を残せた。次の京大戦では、飯島の復活、そして他の選手の台頭を期待したい。

#### 13:00 女子走幅跳 決勝

浜松(3年)、杉本(2年)の出場。強い風が吹いてはいるものの、心配された雨は降らず、時折雲間から日が射すほどの天候であった。専門外であるうえ、すでにトラックのレースを走り終えている両選手ではあるが、新規戦力としての可能性に期待したいところ。

浜松は、1500m、400mのレース後であり疲労が心配される。1跳目、うまく跳躍できず3m02。2跳目では3m53に記録を伸ばす。このあたりから慣れてきたのか、跳躍が安定してくる。後半では3m50前後の記録で安定し、4跳目の3m61が最高記録となった。杉本はOB戦でも走幅跳に出場しており、今回は2度目の挑戦となる。1跳目で3m49を記録。2跳目は足が合わずファールとなる。前半は1跳目が最高で3位で折り返す。4跳目に3m61を記録し、さらなる記録が期待されたが、これを上回することはできなかった。

結果、セカンド記録の差で浜松が4m61の3位、杉本が3m61の4位であった。今回、専門外の中距離選手の2人がエントリーしたが、普段とは別の種目に出場したことは、良い経験となっただろう。相変わらず選手不足の女子走幅跳であるが、今後も様々な選手に挑戦してもらいたい。

#### 13:30 男子やり投 決勝

佐々木(3年)、上野(1年)の出場。天気は予報とは裏腹に、時折晴れ間もさすような好天に恵まれた。しかし風は台風の影響で激しく吹き荒れ、風向きも定まらなかった。東大はやり投においては劣勢を強いられるだろうと予想されていたが、山東(3年)がひじの故障、千葉(5年)も腰の故障で棄権となり、状況はさらに厳しいものとなっていた。佐々木、上野の両名には一つでも上の順位を獲ってもらい、差を少しでも小さくしてもらいたいところだ。上野は棒高跳

の選手であるが、夏の間やり投をしっかりと練習していた。その時からセンスのある投擲を見せていたので、期待が高まる。

上野は2投目に38m97を投げ、さっそく自己ベストを更新した。全身を使ったバネ感のある投擲を見せ、更なる記録更新が期待される。4位で折り返し、後半戦。5投目に38m68を投げ、よい感覚で6投目に向かった。いよいよ最後の投擲で、力が伝わったやりは少し右にそれながらも40mラインを越えた。結果は41m21で4位。この間やり投を始めたばかりとは思えないような投擲で、大健闘の結果であった。佐々木は1投目に40m01を投げ、2投目に50mラインに近づく投擲をみせた。しかし、この2投目で佐々木はひじを痛めてしまい、以後の投擲をパスする。それでも抜かれることはなく、結果は48m04で2位であった。

二人ともよく健闘し、やり投での点差を最小に押しとどめた。佐々木はひじを痛めてしまい今後の経過が心配ではあるが、一方で上野が躍進を見せ希望も見出せた試合であった。

#### 14:30 男子走高跳 決勝

土居(4年)、小松(2年)、工藤(1年)の出場。雨が降ったりやんだりする不安定な天気の中、試合開始となった。この種目は一橋大学に専門の選手がいないとのことなので、大量得点に期待したい。

土居は、専門とする棒高跳が対校種目がないため、今回は走高跳にエントリー。安全圏の1m45から競技を開始する。1m50までを1跳目で成功し、1m55も2跳目で成功する。続いて自己ベストとなる1m60に挑戦。ここでも余裕のある良い跳躍を見せ、見事にクリア。この時点で東大勢の1,2,3位が決定。土居は足への負担を考慮し1m65の1跳目までで棄権した。小松は、1m60から跳躍を開始する。今シーズンは怪我で良い記録を残せていなかったが、怪我から回復した今回は全体的に良い跳躍をしている。自己ベストタイとなる1m70まで順調にクリアし、1m75に挑戦する。1跳目、体はバーを越えており惜しい跳躍であった。残る2跳に期待がかかるが、惜しくも成功はなら

なかった。工藤は1m75から跳躍を開始。この高さを余裕でクリアすると、1m80をパスして1m85に進む。ここでも余裕の跳躍を見せ、さらに1m90も成功する。続いて、自己ベストで、関カレB標準となる1m95に挑戦。少し動きがかたくなったか、1跳目は失敗。このとき、トラック種目は4×400mRを残すのみとなっており、高跳ピットに注目が集まる。部員の声援を受け、2,3跳目に挑むも残念ながら失敗に終わった。

結果、工藤が1m90の1位、小松が1m70の2位、土居が1m60の3位であった。専門外の土居の活躍もさることながら、工藤、小松ともに自己ベスト更新が目前に感じられる良い跳躍を見せており、非常に良い結果であった。京大戦ではこの勢いをそのままに、さらなる活躍に期待したい。

## 1.5 試合結果

第53回東京大学・一橋大学対校陸上競技大会  
第8回東京三大学女子対校陸上競技大会

於 東京大学駒場競技場 (H23.9.3)

### 男子100m 決勝 (+1.3)

1	真木伸浩	東京大	11"24
2	櫻井綾人	一橋大	11"28
3	児玉修一朗	一橋大	11"47
4	八子基樹	東京大	11"57
5	山下修平	東京大	11"61
6	鈴木康徳	一橋大	11"71

### 男子400m 決勝

1	櫻井綾人	一橋大	49"73
2	真木伸浩	東京大	50"35
3	三宅善貴	一橋大	50"92
4	白神豊	一橋大	51"58
5	小松侑太	東京大	55"45
-	大澤渉	東京大	DNF

### 男子1500m 決勝

1	斎藤和輝	一橋大	4'07"91
2	東大貴	東京大	4'09"64

3	宮野健司	東京大	4'09"87
4	石井雄一	一橋大	4'11"12
5	辻村瞭太	一橋大	4'17"21
6	吉岡基	東京大	4'30"57

### 男子5000m 決勝

1	新庄洋人	一橋大	15'42"02
2	大久保翔平	東京大	15'45"38
3	山田竜也	東京大	15'51"59
4	庄子将	一橋大	15'59"46
5	岩川純也	東京大	16'37"49
6	庄司頼太	一橋大	16'53"23

### 男子110mH 決勝 (+1.7)

1	上松祐太	東京大	15"94
2	川原善紀	東京大	16"21
3	上田瑛久	一橋大	16"57
4	杉森康平	東京大	16"67
5	河村祐輔	一橋大	17"63

### 男子4×100mR 決勝

1	一橋大	42"75
2	東京大	43"47

(八子-山下-上松-真木)

### 男子4×400mR 決勝

1	一橋大	3'22"47
2	東京大	3'28"94

(上松-山田-松原-拙島)

### 男子走幅跳決勝

1	佐野健太郎	一橋大	6m66(+1.9)
2	廣瀬彬	東京大	6m15(+1.6)
3	栗田徹士	東京大	6m07(+1.9)
4	沢登良馬	東京大	6m07(+0.3)
5	松山菊之介	一橋大	6m04(+2.2)
6	鈴木康徳	一橋大	6m02(+0.1)

### 男子走高跳決勝

1	工藤健太	東京大	1m90
2	小松寛	東京大	1m70
3	土居富裕	東京大	1m60
4	佐野健太郎	一橋大	1m55

5	河村祐輔	一橋大	1m55
6	望月俊宏	一橋大	1m50

## 男子砲丸投決勝

1	<u>片山卓也</u>	東京大	10m27
2	佐々木駿	東京大	10m26
3	南茂廉太郎	一橋大	10m08
4	重光成一郎	一橋大	9m87
5	上田瑛久	一橋大	9m64
6	<u>三本恭也</u>	東京大	7m63

## 男子円盤投決勝

1	<u>佐々木駿</u>	東京大	43m08
2	<u>片山卓也</u>	東京大	34m64
3	櫻井綾人	一橋大	31m21
4	南茂廉太郎	一橋大	24m58
5	上田瑛久	一橋大	24m35
6	<u>三本恭也</u>	東京大	22m54

## 男子やり投決勝

1	重光成一郎	一橋大	54m42
2	<u>佐々木駿</u>	東京大	48m04
3	高松佑樹	一橋大	45m53
4	<u>上野隆治</u>	東京大	41m21
5	戸田康紀	一橋大	36m52
-	<u>山東誉英</u>	東京大	DNS

## 男子トラック順位

1	一橋大	32
2	<u>東京大</u>	30

## 男子フィールド順位

1	<u>東京大</u>	33
2	一橋大	17

## 男子総合順位

1	<u>東京大</u>	63
2	一橋大	49

## 女子100m決勝(±0.0)

1	<u>鈴木理香</u>	東京大	13"67
2	花岡恵梨香	津田塾	13"79
3	<u>久保木結</u>	東京大	13"95

4	渡邊知世	津田塾	14"29
---	------	-----	-------

## 女子400m決勝

1	<u>鈴木彩夏</u>	東京大	1'04"50
2	来光彩加	津田塾	1'06"55
3	花岡恵梨香	津田塾	1'09"27
4	<u>浜松由莉</u>	東京大	1'10"37

## 女子1500m決勝

1	<u>浜松由莉</u>	東京大	5'03"31
2	熊谷穂乃美	一橋大	5'19"06
3	杉本南	東京大	5'23"84
4	花岡恵梨香	津田塾	5'46"54
5	中島加奈恵	津田塾	6'37"07

## 女子4×100mR決勝

1	東京大	53"59
(武田-久保木-鈴木彩-鈴木理)		
2	津田塾	55"72

## 女子走幅跳決勝

1	花岡恵梨香	津田塾	4m70(+1.3)
2	橋本彩花	一橋大	4m05(+0.5)
3	<u>浜松由莉</u>	東京大	3m61(+0.7)
4	杉本南	東京大	3m61(±0.0)

## 女子砲丸投決勝

1	武田有希子	東京大	9m67
2	花岡恵梨香	津田塾	6m38
3	今須宏美	東京大	5m92
4	橋本彩花	津田塾	5m90

## 女子トラック順位

1	<u>東京大</u>	35
2	津田塾	26
3	一橋大	5

## 女子フィールド順位

1	津田塾	19
2	<u>東京大</u>	17
3	一橋大	0

## 女子総合順位

1	東京大	52
2	津田塾	45
3	一橋大	5

## 2 2011年度部内5傑

\*学年は2011/4/1時のもの

## 男子 100m

1	春日慶輝(4年)	10"83(-0.5)	7.24
2	真木伸浩(3年)	11"01(+1.3)	6.25
3	中原洋(2年)	11"24(+1.3)	7.17
4	山下修平(3年)	11"25(+0.1)	7.24
5	八子基樹(2年)	11"26(+0.7)	5.28

## 男子 200m

1	大澤渉(3年)	22"11(+0.9)	6.5
2	真木伸浩(3年)	22"30(+1.7)	7.2
3	春日慶輝(4年)	22"68(-2.1)	4.17
4	八子基樹(2年)	22"91(+0.3)	4.10
5	山下修平(3年)	22"95(+0.5)	7.2

## 男子 400m

1	大澤渉(3年)	49"20	5.28
2	小松侑太(4年)	50"97	7.2
3	山田銀河(1年)	51"54	9.3
4	鈴木裕也(2年)	53"27	7.24
5	濱端大貴(1年)	54"00	7.2

## 男子 800m

1	山本憲二郎(2年)	2'00"29	4.2
2	原慎一郎(2年)	2'00"31	6.11
3	須田遊人(6年)	2'00"39	4.30
4	池田剛志(4年)	2'00"94	6.11
5	吉岡基(2年)	2'02"34	5.28

## 男子 1500m

1	東大貴(4年)	3'59"64	5.28
2	大久保翔平(3年)	4'05"36	7.24
3	宮野健司(4年)	4'05"83	6.11
4	吉岡基(2年)	4'09"26	7.2
5	竹内真裕(4年)	4'10"56	9.3

## 男子 5000m

1	宮野健司(4年)	14'58"06	7.24
2	東大貴(4年)	15'01"69	5.28
3	青木佑樹(4年)	15'15"80	6.12
4	大久保翔平(3年)	15'25"05	5.28
5	山田竜也(4年)	15'26"72	7.24

## 男子 10000m

1	宮野健司(4年)	31'43"26	6.24
2	大久保翔平(3年)	32'35"86	6.11
3	山田竜也(4年)	32'38"27	6.5
4	岩川純也(3年)	33'18"60	6.11
5	渡邊駿(3年)	33'29"70	6.11

## 男子 ハーフマラソン

1	宮野健司(4年)	1:12'24"	5.22
---	----------	----------	------

## 男子 110mH

1	川原善紀(2年)	15"56(+0.9)	6.25
2	谷口尚史(3年)	15"95(+0.3)	6.25
3	上松裕太(3年)	15"97(+1.7)	9.3
4	杉森康平(2年)	16"07(+0.7)	7.17
5	原湖楠(5年)	18"70(+1.4)	4.2

## 男子 400mH

1	上松裕太(3年)	54"17	7.2
2	高木海平(4年)	55"46	7.2

## 男子 3000mSC

1	青木佑樹(4年)	9'23"87	7.24
2	山田竜也(4年)	9'38"22	7.2
3	渡邊駿(3年)	9'42"00	7.2
4	岩川純也(3年)	9'43"45	7.2
5	宮野健司(4年)	10'10"86	5.3

## 男子 5000mW

1	瀧川朗(3年)	22'22"57	7.2
2	近藤健一(2年)	23'02"36	7.23
3	上西康平(2年)	29'47"28	7.2

## 男子 10000mW

1	瀧川朗(3年)	45'05"89	5.15
2	近藤健一(2年)	48'10"54	5.15
3	堀田樹生(2年)	50'52"90	4.30

## 男子 走高跳

1	工藤健太(1年)	1m90	7.2
2	小松寛(2年)	1m70	9.3
3	土居富裕(4年)	1m60	9.3

## 男子 棒高跳

1	上野隆治(1年)	4m30	7.24
2	土居富裕(4年)	4m00	5.28
3	松原洸也(2年)	3m60	7.2

## 男子 走幅跳

1	飯島靖成(2年)	6m67(+1.7)	7.2
2	廣瀬彬(6年)	6m15	9.3
3	栗田徹士(1年)	6m13(+0.2)	7.24
4	沢登良馬(2年)	6m07	9.3
5	早川頌(1年)	5m98(+0.0)	7.24

## 男子 三段跳

1	廣瀬彬(6年)	13m71(+1.3)	7.24
2	高木海平(4年)	13m52(+2.0)	5.2
3	沢登良馬(2年)	12m74(+1.7)	7.24

## 男子 砲丸投

1	佐々木駿(3年)	10m39	5.28
2	片山卓也(3年)	10m27	9.3
3	原湖楠(5年)	9m95	4.30
4	三本恭也(1年)	7m63	9.3

## 男子 円盤投

1	佐々木駿(3年)	43m29	7.24
2	片山卓也(3年)	33m52	4.30
3	原湖楠(5年)	29m89	5.1
4	三本恭也(1年)	22m54	9.3

## 男子 ハンマー投

1	千葉伸宏(5年)	32m87	5.15
2	佐々木駿(3年)	30m68	7.24
3	今村昌平(3年)	28m27	7.2
4	三本恭也(1年)	15m34	7.24

## 男子 やり投

1	佐々木駿(3年)	48m04	9.3
2	千葉伸宏(5年)	46m90	4.2
3	上野隆治(1年)	41m21	9.3
4	原湖楠(5年)	40m73	5.1
5	山東誉英(3年)	39m72	4.3

## 女子 100m

1	鈴木理香(3年)	13"67(-1.0)	9.3
2	久保木結(3年)	13"91(+0.6)	7.24
3	納朋子(1年)	14"21(+1.0)	7.2

## 女子 400m

1	鈴木彩夏(2年)	1'04"50	9.3
2	今須宏美(1年)	1'05"97	7.24
3	浜松由莉(3年)	1'10"37	9.3

## 女子 800m

1	浜松由莉(3年)	2'23"16	5.28
2	今須宏美(1年)	2'24"36	7.24

## 女子 1500m

1	浜松由莉(3年)	4'52"00	6.11
2	杉本南(2年)	5'19"14	4.2
3	立岡美夏子(3年)	5'21"68	4.2
4	杉浦奈実(3年)	5'22"55	4.2
5	鈴木恵美里(4年)	6'03"15	7.2

## 女子 3000m

1	浜松由莉(3年)	10'49"80	5.28
2	杉本南(2年)	10'53"67	4.30
3	杉浦奈実(3年)	10'59"68	7.2
4	立岡美夏子(2年)	11'58"83	5.28

## 女子 100mH

1	久保木結	16"59	7.17
---	------	-------	------

## 女子 走高跳

1	丹家里枝(3年)	1m53	7.2
2	久保木結(3年)	1m35	7.24

## 女子 走幅跳

1	武田有希子(2年)	4m37(+0.0)	5.28
2	丹家里枝(3年)	3m95(-1.3)	7.2
3	浜松由利(3年)	3m61(+0.0)	9.3
4	杉本南(2年)	3m61(-1.3)	9.3

## 女子 砲丸投

1	武田有希子(2年)	9m88	7.24
2	今須宏美(1年)	5m92	9.3

## 女子 円盤投

1	武田有希子(2年)	31m41	4.2
---	-----------	-------	-----

## 女子 やり投

1	武田有希子(2年)	23m37	5.28
---	-----------	-------	------

### 3 自己記録更新者一覧 2011.7.25～9.3

#### 8/28 第55回北陸陸上競技選手権大会

100m 春日慶輝(4年) 10"80(+1.7)

#### 9/3 第53回一橋大学・東京大学対校陸上競技大会

#### 兼第8回東京三大学対校女子陸上競技大会

400m 壁谷勇佑(1年) 57"05

5000m 筒井隆徳(1年) 19'02"22

走幅跳 沢登良馬(2年) 6m07

走高跳 土居富裕(4年) 1m60

砲丸投 片山卓也(3年) 10m27

砲丸投 三本恭也(1年) 7m63

砲丸投 今須宏美(1年) 5m92

円盤投 片山卓也(3年) 34m64

円盤投 三本恭也(1年) 22m54

やり投 佐々木駿(3年) 48m04

やり投 上野隆治(1年) 41m21

## 4 主務より

### 4.1 応援OB・OG紹介

9月3日(土)に駒場グラウンドにて行われました一橋戦に際し、応援に駆けつけて下さったOB・OGの皆様のご氏名を報告いたします。(敬称略)

1979年卒 中谷敬二

1991年卒 小野満

2001年卒 岡野浩介

2001年卒 新妻 拓弥

2001年卒 中台慎二

2003年卒 相原佑康

2007年卒 片岡哲朗

2009年卒 梶井駿介

2009年卒 梶岡利之

2009年卒 金尾太郎

2009年卒 千徳恒憲

2010年卒 横田祥

2010年卒 西川鋭

2010年卒 山崎貴裕

2011年卒 木内久雄

2011年卒 酒谷彰一

2011年卒 井上雄介

2011年卒 西田昂広

ご多忙の中、お越し下さいましたことに現役部員一同、心より御礼申し上げます。

### 4.2 行事予定

- 日本インカレ  
9/9(金)・10(土)・11(日) 熊本
- 関東女子駅伝  
9/25(日) 印西市千葉ニュータウン
- 京大戦(主管)  
10/1(土) 駒場グラウンド
- 箱根駅伝予選会  
10/15(土) 国立昭和記念公園
- 第14回東大競技会  
11/5(土)・6(日) 駒場グラウンド

### 4.3 連絡先(慶弔等)

慶弔のご連絡は下記連絡先までお願い申し上げます。

総務委員長:田上静之

TEL: 03-3835-6792

(凸版印刷株式会社経営監査室)

E-mail: seishi.tanoue@toppan.co.jp

学生主務:東大貴

〒177-0045 東京都練馬区石神井台 7-23-8 北海寮 325号室

TEL: 090-7644-5461

E-mail: shumu@utf.org

\*この部便りは下記 web ページでもご覧になれます\*

<http://www.utf.org/>

\*また、現在、陸上運動倶楽部のメーリングリスト「utf club」にて、大会結果の速報および部便りのメール送付等を行っております。メーリングリストへの登録をご希望の方、もしくは部便りの郵送不要の方は、お手数ですが学生主務までご連絡下さい\*

主務 東大貴

文責: 池田剛志